

まだ 30 歳代の働き盛りであったころ、私は片道 1 時間半の通勤を強いられていました。ラッシュアワーの苦痛もさることながら、通勤による時間のロスに参っていました。なにしろ、24 時間から勤務時間、睡眠時間、食事や洗面などの時間を差し引いた僅かの自由時間に、通勤時間がばっちり喰い込むのだからかきません。自分の時間がまるでなくなってしまうではありませんか。通勤さえ近ければ、もっともっと読書も勉強もできるはずなのに……。

さて、四季はめぐり時は移って、40 歳代も半ばになると事情は一変しました。目が衰えて車中での読書がしんどくなってきたのです。そうすると、通勤時間はロス以外のなにものでもありません。やむを得ず、背に腹は代えられぬ、人生の残り少ない時間をカネで買おう、こう覚悟を決めて職場の近くに前進基地としてのワンルームを買い求めることにしました。これで 1 日あたり 2 時間の勉強時間が浮くとなれば安いものだ……。

人生の残り少ない時間をカネで買おうと覚悟を決めた私は、通勤時間を節約するための前進基地についてのデータを集め、費用対効果を比較してみたところ D というワンルームマンションが最適であるとの結論を得たのでした。しかしながら、この結論だけでこのワンルームを購入するほど事態は単純ではありません。なにせ、中古で 1000 万円です。ローンの返済計画や節税との関係、将来の資産価値の見通し、購入と賃貸の比較などのほか、目的外の利用価値も気になるし、職場に近すぎると悪友の溜り場になることも心配です。あれやこれやと検討に検討を重ね、ついに私は D というワンルームマンションを購入する決心をし、実行しました。これで 1 日あたり 2 時間の勉強時間が浮くなら安い、ものだと胸を張って、です。

後日談……、1 日あたり 2 時間の余裕ができた私は、どうしたかという、1 日あたり 2 時間ずつ余分に飲み歩いてしまったことを告白しなければなりません。

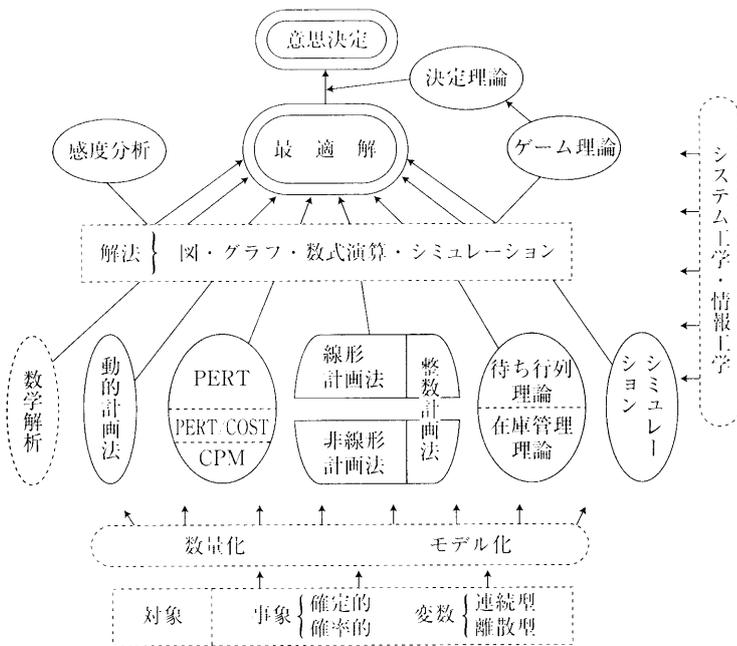


図 1.6 意思決定に奉仕する OR

シンプレックス法の考え方は、おおよそ、つぎのとおりです。43 ページあたりに書いたように、線形計画法の最適解は許容領域の角の 1 つが教えてくれますから、この章で使った 3 つの例題では図形を視覚に訴えて、その内を比つけてきたのでした。しかし、即位では表わせないほど変放や制約条件がふえてくると、角の数はものすごく多くなり、最適解の角を人間の 5 感で見つけることはもちろん、数学的に算出することも困難になってしまいます。

そこで、シンプレックス法では、とりあえず 1 つの角を見つけ、そこを起点にして少しでも目的関数の値が大きい角のほうへと移動を繰り返して、最後には目的関数が最大になる角に辿りついていきます。目的関数が大きい角へ移動するためには、数字を機械的にやりくりするのですが、やりくりの原理は連立方程式を解くときの消去法のようなものと考えていただいてもいいでしょう。

シンプレックス法は、決して手数が少ないとは言えませんが、なにしろ機械的数字をやりくりするだけの単純作業ですから助かります。そのうえ、こういう**単純作業はコンピュータむきな**ので、パッケージソフトが市販されていて、いつでも利用できるところが大助かりです。また、エクセルのソルバー機能を用いて解くこともできます。

~~~~~

あなたはこれから 10 回だけお見合いを世話してもらえることになったと思ってください。この中で相手が決まらなければ結婚相手には一生めぐり逢えないものと覚悟していただきます。もちろん、1 回には 1 人としかお見合いはできませんし、いちど断わった相手とヨリを戻すことは遠慮ねがいます。

こういう前提ですから、このあたりでよかろうと妥協して相手を決めてしまえば、それから先にどのような絶世の美女が待っていたかは知るよしもありません。また、もっとよい条件の相手が現われることを期待して目の前のチャンスを見送ったあげく、それからあとは不美人ばかりが現われて、こんなことならあのとき決めておけばよかったと悔やんだところで、あとの祭りです。ただ、見合いの結果はあなたの意志次第であり、**相手にふられることはない**、としているところがなによりの救いです。さあ、どういう作戦で 10 回の見合いに臨みましょうか。

まず、5 種類の作戦を立ててみます。この 5 種類を比較検討して、最善の作戦を選ぼうというわけです。作戦は表 1.3 のとおりです。「速決判」では、1 人めはとにかく見送ります。1 人めにいちばん上等の女性が規われる確率は 1/10 しかないし、それに 1 人で決めるなら 10 人もの候補者なんかいないではありませんか。2 人め以降は、一刻も早く決めてしまおうという態度に徹しています。2 人めは 1 人めより優れていれば決めてしまうし、劣ればパスします。3 人め、4 人めでは、それまでの女性たちと較べて最下位でなければ決めてしまうというのですから、かなりの「速決型」でしょう。「早とちり型」といってもいいかもしれません。以下、5、6 人めは 4 位以内、7、8 人めは 5 位以内、9 人めなら 6 位以内と、かなり寛大な条件で早く相手を決めようとするのですが、これだけ急いでも 10 人の女性の順序によっては最後まで決まらず、10 人めが現われることがあるかもしれません。10 人めで決めてしまわないと、一生ひざ小僧を抱えてひとり寝をすることになってしまいます。

「性急型」は、1 人め、2 人めは候補者たちのレベルに見当をつけるために見送るのですが、それ以降はなるべく早く決めてしまうつもりです。うじうじして 10 人めまで持ち越したくはないなという気持ちが表れています。まさに「せっかち型」と呼ぶにふさわしい作戦です。

「妥協型」は、あまり選り好みしたあげくにハズレを掴むはめになるのは嫌だから、ほどほどで妥協しようという気持ちが見え見えます。「ほどほど型」とでもいうところでしょうか。

「慎重型」は、一生の伴侶を決めるのだから、慎重になるのは当然ですが、7 人めでもそれまでの 1 位ならとか、9 人めまできても 2 位以内とかいうのは慎重を通り越して「のろま型」ではないでしょうか。

「優柔型」は、これはもう、優柔不断以外のなにものでもありません。5人めまで、無条件でパスしたあげくに、8人めや9人めになっても、それまでの誰よりも優れていなければ決めないなどと、いったい、なに様のつもりなのでしょう。「うぬぼれ型」の別名でも差し上げたいくらいです。

これで、5種類の作戦が出揃いました。平均的に見てどの作戦が優れた女性を獲得できるでしょうか。また、10人のうち最高の女性を得る確率は、どの作戦がもっとも大きいでしょうか。逆に最低の女性を掴んでしまう危険性は、どの作戦が多いのでしょうか。

表 1.3 5種類の作戦を立てる

|       |              |                  |
|-------|--------------|------------------|
| 〔速決型〕 | 1人め          | 見送る              |
|       | 2, 3, 4人め    | それまでの最下位でなければ決める |
|       | 5, 6人め       | それまでの4位以内なら決める   |
|       | 7, 8人め       | それまでの5位以内なら決める   |
|       | 9人め          | それまでの6位以内なら決める   |
|       | 10人め         | 決める(他の作戦でも同じ)    |
| 〔性急型〕 | 1, 2人め       | 見送る              |
|       | 3人め          | それまでの1位なら決める     |
|       | 4, 5人め       | それまでの2位以内なら決める   |
|       | 6, 7人め       | それまでの3位以内なら決める   |
|       | 8, 9人め       | それまでの4位以内なら決める   |
| 〔妥協型〕 | 1, 2, 3人め    | 見送る              |
|       | 4人め          | それまでの1位なら決める     |
|       | 5, 6, 7人め    | それまでの2位以内なら決める   |
|       | 8, 9人め       | それまでの3位以内なら決める   |
| 〔慎重型〕 | 1, 2, 3, 4人め | 見送る              |
|       | 5, 6, 7人め    | それまでの1位なら決める     |
|       | 8, 9人め       | それまでの2位以内なら決める   |
|       | 〔優柔型〕        | 1, 2, 3, 4, 5人め  |
|       | 6, 7, 8, 9人め | それまでの1位なら決める     |

私が各作戦について50回ずつの実験をした結果

を見ていただきます。表 1.4 がそれです。

「速決型」は、獲得した女性の平均点数が高くないし、10点の女性を得た割合も5種類の作戦の中ではいちばん低くなっています。1点の女性を掴むはめになった割合が0%なのは救いですが、決しておすすめできる作戦ではありません。「性急型」では、平均点数や10点の女性を得た割合が「速決型」よりは改善されいますが、「妥協型」と較べると見劣りするのです。あまりおすすめの作戦とは言えないように思います。やはり、「せいては事を仕損じる」なのでしょう。

表 1.4 のいちばん下、「優柔型」を見てください。獲得した女性の平均点数もいちばん悪いし、最高の女性を得た割合も「慎重型」より低く、そのうえ、最低の女性を掴んだ割合もトップなのですから、こんな作戦を選ぶ手はありません。

残ったのは「妥協型」と「慎重型」です。平均点は「妥協型」の

ほうが高いのですが、最高の女性を獲得する夢は「妥協型」のほうがぐっとふくらみます。その代り、「慎重型」は最低の女性と一生を暮すリスクも7%くらいは覚悟しなければなりません。どちらを選ぶかは、各人それぞれの条件や人生観しだいです。安全を選ぶなら「妥協型」、夢を追うなら「慎重型」でしょうか。決断がつかなければ、両作戦の中間的な作戦を作って実験を追加してみるのも有効な方策です。それにしても、思ったよりじっくり待つほうがいい結果がでるものですね。待てば海路の日和あり、でしょうか。

表1.4 実験結果を整理すると



| 作戦の種類 | 獲得した女性の平均点数 | 最高の女性を得た割合 | 最低の女性を掴んだ割合 |
|-------|-------------|------------|-------------|
| 速決型   | 7.0         | 14%        | 0%          |
| 性急型   | 7.8         | 20%        | 0%          |
| 妥協型   | 8.1         | 25%        | 2%          |
| 慎重型   | 7.5         | 34%        | 7%          |
| 優柔型   | 6.4         | 30%        | 11%         |

~~~~~

そこでこの節で

は、相手にふられることも考慮に入れたモデルを作り、シミュレーションをやりなおしてみようと思います。

常識的に考えて条件の女性のほうが相手をえり好みしそうですし、自信のない女性なら、はやく永久就職を決めてしまいたい心理が働きそうですから、こちらが結婚を望んだにもかかわらず女性にふられてしまう確率を、ちょっと甘いかもしれませんか

1点か2点の女性のとき	0%
3 / 4	10%
5 / 6	20%
7 / 8	30%
9 / 10	40%

と見積もらせていただきましょう。では、この条件を追加してシミュレーションをはじめます。もちろん、こちらが結婚を望んだのに相手にふられたときは、つぎの女性との見合いにすすむ、とします。ただし、10人めの女性にふられると、これはもう惨めです。一生涯、ひとり寝の憂き目をみなければなりません。

~~~~~

いかがでしょうか。ふられることを考慮に入れなかった22ページの表1.4と較べてみてください。ふられることを考慮に入れても全体の傾向は意外に変わらないものですね。ただし、表1.4では安

全を選ぶなら「妥協型」、夢を追うなら「慎重型」くらいの感じであったのに対して、こんどは、文句なく「妥協型」に軍配をあげていいでしょう。平均点が最も高く、最高の女性を得た割合は「慎重型」とほとんど同じで他を押し、最低の女性を掴んだり、女性にありつけなかったりの危険もがまんできる程度に小さいからです。もっとも、どんな女性でもいいから女性なしでは生きていけないという方は「性急型」か「速決型」を、どうぞ……。

表 7.2 お見合作戦のシミュレーション結果\*

| 作戦の種類 | 獲得した女性の平均点数 | 最高の女性を得た割合 | 最低の女性を掴んだ割合 | 女性にありつかなかった割合 |
|-------|-------------|------------|-------------|---------------|
| 速決型   | 6.9         | 15%        | 0%          | 0%            |
| 性急型   | 7.2         | 15%        | 2%          | 1%            |
| 妥協型   | 7.7         | 27%        | 2%          | 4%            |
| 慎重型   | 7.5         | 28%        | 5%          | 9%            |
| 優柔型   | 6.3         | 23%        | 10%         | 16%           |